

第16回厚別区防犯ネットワーク会議 会議録

1 日時・会場

令和4年(2022年)3月16日(水) 14:00~15:40
厚別区役所 2階 A会議室(Web併用)

2 出席者(敬称略)

高橋 智美(小学校長会厚別支部)
湯浅 雅之(厚別区PTA連合会)
鈴木 光義(厚別中央地区まちづくり会議)
波多野 達郎(厚別南まちづくり会議)
櫻井 進(厚別西地区まちづくり会議)
作田 征男(もみじ台まちづくり会議)
諏訪田 正美(青葉地区まちづくり会議)
栗原 佐外夫(厚別東地区まちづくり会議)
大川 博(厚別区中学校長会)
清兼 康文(北海道札幌方面厚別警察署)
笠嶋 保博(厚別警察署少年補導員連絡協議会)
小川 直人(札幌市厚別区保護司会)
大川 和則(北海道コカ・コーラボトリング株式会社)
小野塚 秀彦(厚別区役所)

3 会議内容

<1. 開会>

(省略)

<2. 議事>

○ それでは、議事に移ります。

前回、厚別区防犯ネットワークの代表でした小学校長会厚別支部の千葉委員と副代表でした厚別区PTA連合会の佐藤委員がそれぞれ退任されたことから、当ネットワークの規約の第4条に基づき、代表及び副代表を新たに選出する必要があります。以前より代表は小学校長会、副代表は厚別区PTA連合会にそれぞれお願いしており、今回も小学校長会厚別支部の高橋委員、副代表は厚別区PTA連合会の湯浅委員にお願いできればと考えております。

当ネットワーク規約では代表及び副代表は互選となっておりますので、委員の皆様のご

承認をいただきたく、よろしければ拍手をお願いしたいと思いますますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」と発言する者あり) (拍手)

○ ありがとうございます。

それでは、以後の進行につきましては高橋代表をお願いいたします。

よろしくをお願いいたします。

< 3. 報告 (情報提供事項) >

○ それでは、令和4年度事業計画について事務局から説明をお願いいたします。

○ 令和4年度事業計画について説明いたします。

資料2をご覧ください。

左から防犯ネットワーク、真ん中に厚別区、右に札幌市/その他機関(予定)の三つに分けて整理しております。

左の列の防犯ネットワークです。

当ネットワークの会議や事業について整理したものです。本日3年ぶりにネットワーク会議を開催しました。その後、本日の開催内容を基に、4月末をめどにネットワーク通信vol.8を発行したいと考えております。続いて、防犯講演会の実施を予定しておりますが、開催時期、内容については未定です。年明けの1月中をめどに次回の第17回防犯ネットワーク会議を開催したいと考えております。また、年度内を目標にネットワーク通信vol.9を発行したいと考えております。

続きまして、真ん中の列の厚別区です。

事務局であります厚別区役所の取組について整理しております。上から順に道警及び厚別警察署からのほくとくん防犯メールを基に特殊詐欺事案などの注意喚起があった場合、事案発生から2週間程度をめどに、区役所内で、午前と午後の各1回、館内放送によって注意喚起をしたり、今年度に調達したデジタルサイネージや新たに作成した横断幕を活用し、防犯に関しての普及啓発や注意喚起を随時図ります。

また、4月もしくは5月頃には、小学校長会厚別区支部にて、地域安全マップの支援について改めて説明したいと考えております。

こちらの事業は、犯罪者が好む入りやすく見えにくい場所を子どもたちが見つけ、分析し、マップづくりを通じ、対処法を体得することにより、地域安全マップに記載された危険箇所のみならず、他の地域に行っても応用が利く自主防犯力の向上を図ることを目的としております。

平成19年度から希望する小学校には個別に支援しておりますが、共栄小学校と厚別北小学校の2校での実施にとどまっております。

支援内容としては、子どもたちがマップづくりのために地区内を歩く際、それぞれの地点を撮影するためのインスタントカメラの貸出しを行っております。

6月には防犯教室を小学校2校で実施する予定です。外部講師を招聘して実施します。

クイズや実演、体操や体験型ゲームなどを通じ、体を動かしながら練習し、実際に不審者に遭遇したときに役立つ行動力を身につけることが狙いです。

厚別通小学校と厚別東小学校にて6月8日と6月9日に実施することを予定しております。

資料2の事業計画にお戻りください。

右の列の札幌市／その他関係機関（予定）です。

札幌市役所本庁部局、北海道警察、厚別警察署の取組について、令和3年度の実績を基に整理したものです。

通年の募集をしております地域安全サポーターズ（子ども110番の店）、北海道警察、厚別警察署による通年募集として青色防犯パトロールの講習会、そして、4月からの予定として、ながら防犯の運用を開始予定です。

このほか、安全で安心な公共空間整備促進事業（防犯カメラ設置補助金）の受付、子ども110番の家の更新、新規の受付が予定されます。また、10月1日から14日の2週間、「安全・安心なまちづくりの日」として、パネル展が例年実施予定です。

それから、例年12月に歳末警戒として、厚別警察署で青色防犯パトロール隊の合同出隊式が予定されております。昨年度の実績を基に、年度の計画としてはこのような予定です。

○ 令和4年度の今後の事業予定について詳しいご説明がございましたが、ご質問等はございませんか。

（「なし」と発言する者あり）

○ 続きまして、札幌市子ども110番の家登録状況について事務局から説明をお願いいたします。

○ 資料3の札幌市子ども110番の家支援登録団体一覧をご覧ください。

こちらの資料は、子ども110番の家支援事業を所管する札幌市役所の本庁部局である市民文化局地域振興部区政課より提供していただいたものです。

今年の2月時点において、厚別区内には、平成28年以降、小学校、PTA、スクールゾーン実行委員会、町内会など、23団体、946名（協力事業者なども含む）が登録しています。

登録団体は毎年増えており、協力者にはSOSの書かれたデザインのシールが配付され、玄関や窓などに掲出されています。

○ 子ども110番の家の登録状況についてのお知らせでした。毎年増えているということでうれしいなと思います。

今の説明について何かご質問等はございませんか。

（「なし」と発言する者あり）

○ 続きまして、防犯カメラ設置補助金について事務局から説明をお願いします。

○ 資料4の防犯カメラを設置しませんか？をご覧ください。

こちらの資料は、昨年4月から11月に募集した際の資料です。

町内会が公園などに防犯カメラを設置する際に補助するための制度で、カメラ1台当た

り18万円、8台まで補助できます。令和4年度も継続することを市民文化局地域振興部区政課に確認しております。

令和2年度までの補助実績が記載されております。

資料には記載されておりませんが、速報値として、令和3年度には全市で16町内会から51台、厚別区内では2町内から13台が新たに申請されております。

なお、厚別区内では、合計、8町内会に40台設置されています。

- 防犯カメラの設置補助金についてですが、ご質問等はございませんか。
- 防犯カメラは犯罪を防ぐために非常に有効ですが、1台当たりの設置費はどれくらいかかるのでしょうか。また、年間の維持費についてご存じであれば教えていただきたいと思ひます。
- お調べし、後日、改めてお知らせしたいと思ひます。メーカーによって若干違うかと思ひますが、大体このぐらいだと思われまふというものをお伝えしたいと思ひます。
- 防犯カメラの取組は非常にいいものだと思ひますが、横つながりのことでぜひお伝えしておきたいことがあります。

まず、助成金の対象が町内会ということですが、マンションや賃貸住宅で普及が広まらないという現状を目の当たりにしてまふ。

誰が住んでまふかが分からないような環境のところこそ普及できる方法論を札幌市に考へていただきたい。

現状では単位町内会ごとでカメラが設置されてまふが、見守りをしてまふ側としては、町内会を通り越し、校区内全域での安全を確保したいと考へ活動してまふ。広い視野で見たときの温度差をすごく感じるものですから、そういうことがあったということをお伝えしておきたい。

- 補助金を所管する市民文化局地域振興部区政課に議事録を添えお伝えしまふ。
- ほかにございまふせんか。

(「なし」と発言する者あり)

- 続きまふして、来年度より札幌市が実施するながら防犯事業について事務局から説明をお願いいたしまふ。
- ながら防犯について説明させていただきます。

(※資料ナシ)

令和4年度からの新たな取組で、募集案内などの詳細な情報は区にも届いておりまふせん。

お散歩やランニングなどの個人の日常活動、あるいは、配達や営業などの企業の事業活動の中で防犯の視点を取り入れ地域で見守りを行っていただく取組を行うことが予定されてまふ。

取組に参加する人たちには連帯感を醸成するステッカーやシール、バンダナなどの配付が予定され、令和6年度までに登録者数1万人を目指すことが計画されてまふ。

- ながら防犯について説明がございまふした。令和4年度からの新たな取組ということ

したが、もう少し聞いてみたいことや要望等はございませんか。

○ 具体的にはどういう活動なのでしょう。

○ 犬の散歩を、ジョギングやサイクリングなど、ふだんの生活の中に防犯の視点を取り入れた取組みのようです。

ご賛同いただいて取組みにご参加された方にはシールやバンダナなどが配付され、同じものをつけていれば、あっ、あの人もやっているのだと分かるようにして連帯感を醸成し、1万人にご参加いただくことを目標にしております。

○ ステッカーやバンダナは持ち歩くものですか。それとも、建物に貼るのですか。

○ 車に貼るということもあるかもしれませんが、身につけて歩くということです。同じものを持っている人がいたら、あっ、あの人もやっているのだねとやっている人同士であれば互いに見れば分かる草の根の取組を目指しているのかなと思われそうです。

○ 具体的にはこれからということですが、小学校でもPTA活動で腕章をつけたり、ベストを着たり、交通安全の旗を持って活動したり、日常的に子どもたち見守りをお願いしているのですよね。それと似たようなもので、一般市民に協力してもらうものなのかなと理解しました。

令和6年度までに1万人を目指すということですが、これからどんどんと広まってほしいなと思います。

そのほかにごございませんか。

(「なし」と発言する者あり)

○ これで報告については終了となります。

< 4. 各構成団体からの報告、意見交換等 >

○ それでは、各団体からの報告事項や活動状況等について、意見交換のテーマについてご提案のある方はいらっしゃいますでしょうか。

○ 私どもの青色防犯パトロール隊についてです。

まちづくり会議の中に所属します青色防犯パトロール隊ですが、町内会でも青色パトロールの日頃の活動として、厚別中央地区において、12台の自動車で防犯活動を推進しているところです。

日常的な活動として、信濃小学校及びひばりが丘小学校の児童の通学路の安全・見守り活動を実施しています。ただ、青パトの台数が少なく、皆さんにもぜひ参加していただきたいと思っております。

また、年間を通じ、厚別警察署からのほくとくん防犯メールで不審者情報を流していただいたり、まちづくりセンターから情報をいただいたり、学校からも不審者情報をいただいたり、そのたびに青色パトロール隊員に連絡し、緊急に出動しております。

防犯抑止の対応としまして、青色パトロールというのは、機動力をもって移動でき、物すごく有効的な防犯活動だと思います。こういう機会を通じ、防犯パトロール隊員をもっ

と増やしていきたいと思っております。

今説明のありましたながら防犯もいいと思えますけれども、現実にある組織をもっと活用していただければと思います。

安全・安心を守ることについては地域の皆さんが一丸となって取り組まなければできないものだと思います、皆さんのご協力をお願いしたいと思います。

また、中央振興会では、防犯カメラを7台設置しました。また、子ども110番の家も、5,200世帯のうち95世帯が参加しており、もっと増やしたいと考えております。

先ほど来のステッカーの配付やながら防犯なども分かりますけれども、私としては、現在ある交通安全実践会や青パト隊などをもう少し活用していただきたいと思っております。ご検討、ご協力をいただけますようお願いいたします。

○ 貴重なご提案をありがとうございます。

小学校でも不審者情報が入りましたら青パトの皆様に戻っていただくことは大変心強く思っております。ただ、どうしても台数が少ないということで、各町内会で増やしていただけたら本当にありがたく思います。

今の青色防犯パトロールに関して、あるいは、既存の組織や団体の活用も含め、ご意見等はございませんか。

○ 今、青パト隊の状況をお聞きできました。ありがとうございます。

もみじ台では、2人いらっしゃるのですけれども、病気などもあり、2021年の秋から活動しておらず、何とかしないとかならないなと思っておりました。

また、先ほどお聞きしました、厚別中央で12台ですかね。増やしたいという考え方は理解できますが、厚別全体でこれだけの小・中学校があるわけですが、それも含めて青パト隊があったらいいという指針まで考えていらっしゃるのだったらお聞きしたいなと思いました。

それから、朝の通学時間帯にボランティアで交通整理等をしている方がどこの地区にもいらっしゃるかと思うのですね。それとの兼ね合いもあって難しいとは思いますが、その12台で厚別区全域をカバーするのは難しいと思いますが、厚別区全体で何台あったら可能かというところから出発してはどうかと思います。あくまでも、その地区、その地区に最低1人や2人はお願いしたいという今までと同じ考え方で進むのか、とりとめもない意見でしたが、そのように考えています。

○ 私の言葉足らずだったかもしれません。

私の所属する厚別中央まちづくり会議では、厚別中央地区、学校で言いますと、信濃小学校とひばりが丘小学校の校区が現在見ているところです。その中で、今、名前は出せませんが、ほかの学校からもぜひ見守りをしてくれという要請はあります。そういうことで回れる範囲内で中央地区の巡回をしようと思っております。

今は12台で活動していますが、要請があったとき、活動している会員の中には現役で仕事をされている方もいて、緊急時にばっと出られないということがあります。そうすると、

12台あっても何台かしか出られません。そういう中で緊急時は対応することになるのですが、何台かは増やしたいということです。

○ もみじ台ではどこまでお願いをということまでつかんでありませんが、可能であればお手伝いいただければ大助かりです。

○ 台数を増やし、どこまでできるかは分かりませんが、検討していきたいと思えます。

それから、先ほど交通安全の方からお話が出ましたけれども、3年ほど前から、青色防犯パトロール隊と交通安全実践会がコラボし、私どもが緊急時の出動のとき、交通安全実践会の方も出てくれという話がついており、一緒に活動しております。お互いにメリットはあると思っております。

最近で言いますと、去年の夏ぐらいからコロナ対策による飲み屋の営業時間短縮で公園等で固まってお酒を飲んでいる方の見回りもしていますし、今年の大雪で消火栓が雪に埋もれてしまっているのも、その点検や除雪なども自主的に回るようにしています。

○ 青色防犯パトロールの実情ですが、厚別中央地区は12台が稼働可能ということでしたが、ほかの地区では確保がなかなか難しいという状況が見えてきているのかなと思います。それに合わせ、地区を超えて、厚別地区全体に関して厚別中央地区で面倒を見てくださっているという話を伺うことができました。

情報が出たとき、パトロールで回っていただければありがたいですね。人手が足りないところはお互いに助け合ってきたらいいなと思いますが、ご自身の地区でも青パトに協力していただける方を発掘することも大事ですね。

そのほかにありませんか。

○ 実は、鈴木委員とは青パトの件でお電話でお話をしたことがあります。私も青パトをやって8年になります。作田委員からあった人手がないというのはすごく肌身に感じております。

私は青パトの隊員であると同時に緑のおじさんを10年以上やっていて、通学路に毎日立って子どもの往來を見守っています。ほかにも交通安全の絡みで警察から委嘱を受けたり、いろいろなことを重複してやっているのですが、一連の話から感じたことがあります。

見守り活動の中に青パトは入っているのですが、これは見守り活動の手段の一つなのです。つまり、たくさん見守り活動の中に青パトがあるということで、特に児童生徒の見守りという側面から言うと、車で回るのももちろん大切ではあるのですが、児童の目線で交差点やまちの辻に緑のおじさんの格好をして「気をつけて行ってらっしゃい」と言える雰囲気非常に大切だと感じています。

ながら見守りについてはまだ具体的な話はないということでしたけれども、青パトや緑のおじさんをしながら行き着いた答えは、近隣の方々に協力をしていただき、子どもたちと一緒に学校の近くまで歩いてくれるだけでいいから協力してほしいとお願いしました。何にも深いことを考えず、散歩のつもりで、ただし、子どもや地域の住民の方々の目に触

れる、つまり緑のおじさんの格好をして歩いてほしいということです。都合の悪いときは出なくても構わないし、こうしなければいけないというルールもありません。でも、子どもたちのいる時間帯に目立つところにいてほしいと話をしたところ、非常に敷居が低くなったのです。これをあえてカテゴライズすると散歩しながら見守りです。最近、特に女性の方、子育てが終わったくらいの女性の方がおしゃべりをしながら子どもたちと楽しそうに歩いてくれています、まちの雰囲気が大きく変わりました。

ですから、青パトがなければ心配ということではなく、子ども、あるいは、まちをご年配の方も含めて見守ろうという雰囲気が大事で、その手段として何が導入しやすいかというとき、子どもと一緒に歩く、いってらっしゃいと言うことだろうということに行き着きまして、青パト出動の頻度は減りました。厚別警察署生活安全課からの要請で何度も出ることもあり、それはそれで機能しているのですけれども、日中のまちの防犯という意味では子ども達と一緒に歩くということです。

また、これは子どもを車で登校させる親御さんに言いたいのですが、できれば子どもと一緒に歩いてきてほしいのです。我が子だけを車に乗せて運ぶのではなく、見守り活動しながら歩いてきてくださいとお願いしたいのです。こんな感じでながら防犯が普及していくといいなと感じています。

○ ほかにありませんか。

○ 今の話の関連ですが、やはり、歩くということには私も大賛成で、そのとおりで思っております。

実は、3月になってこういうことがありました。厚別北では厚別北小学校とは常に連携プレーをやっているのですが、厚別北小学校の校長先生とお話する機会があり、学校に行ったのです。私の地域には二つの町内会があって、森林公園パークハウス町内会、森林公園町内会という大きな町内会なのですが、私の写真が貼ってあったのです。

前に厚別北小学校の先生と意見交換しまして、普段着でまちを歩くわけですが、このおじさんやお婆さんは変な人ではないよと分かるようにする何かいいものはないかと教頭先生に投げかけたことがあるのです。それで、学校の壁面に10人くらいのメンバーの顔写真を貼ったということです。たしか、地域を見守るおじさん方という表現だったと思います。

私も、車ではなく、歩いているのです。特に、私の場合、免許を返納したものですからね。学校の行き帰りの時間帯にふらふらしているのです。こんにちは、元気かいという言葉もかけていたのですが、今まで子どもはそっぽを向いていたのです。そこで私は変な人間ではないよ、町内会のおじさん、お婆さんだよと知らせたいということだったのです。今は写真を学校に貼ってくれていますから、それを子どもが見て、あっ、このおじさんは私たちを見守ってくれる安全なおじさんなんだなと分かってくれているのではないかと思っています。

私は、歩いてまちを知ろうというか、挨拶をしましよと。そういう言葉のかけ合いが

原点ではないかと思っております。それが安全・安心の第一歩だと思います。子どもと挨拶できる、そんなまちにしていかないと駄目だなと考えています。写真を貼ってもらったこともあり、最近はこちらはと言う子どももおります。学校の校長先生と教頭先生にお礼を言いましたし、おかげさまで私はすっかり有名になったと笑いました。

このようにして子どもとコミュニケーションを取り、安全なまちづくりの一助になればいいなと思っております。青パトも本当に大切ですけれども、足で稼ぐ町内会ということでこれからもやっていきたいと思っております。

○ 貴重なご意見をありがとうございました。

やはり、人と人がつながっていくことがまちづくりの基本になると思います。

日常の防犯、それから見守りの質を高めるための参考になるお話をたくさん伺うことができました。人を見つけるのが大変だという現状はございますが、基本は人と人が声をかけ合って子どもや地域を見守っていくことだと思いますので、各町内会で今後の活動について工夫していただけたらと思います。

○ 現状として青パトの車の確保が地区によってはかなり難しくなっていることはご理解をいただけたらと思います。

ほかにテーマをお持ちの方はいらっしゃいませんか。

(「なし」と発言する者あり)

○ それでは、この後、各団体から活動状況などについて報告をいただきたいと思っております。

資料1の名簿の順に現在の活動状況についてお話いただければと思います。

○ 確かに、コミュニケーションをしながらというのはすごく大事だと思います。ただ、青パトだと端から端まで行けるのがいいところだと思っております。

2年くらい前でしたか、山本通の跨線橋で子どもがたたかれた、蹴っ飛ばされたということがありました。そのとき、青パトでさっさと行って、啓発活動ができたわけです。そういう移動に青パトはいいのです。

確かに、歩いて話をするのはそうです。先ほどの写真を貼ってあるということでしたが、児童会館には私たちの写真が貼ってあります。去年、サンピアザに普段着のままで行くと、私のことを見て小学校2年生くらいの子が名前を呼ぶのです。何で知っているのと聞いたら、児童会館に写真が貼ってあると言うのです。こうなるまでに3年以上かかりましたかな。でも、ずっと見守りをしているとそういううれしいこともしばしばあります。

また、厚別中央振興会には5,200世帯があります。その中では、防犯も大事ですけれども、防災についても非常に力を入れています。防災については、よその町内会にアドバイスをいただきながら、これからも防災・防犯活動の啓発に地域みんなで手を取りながら頑張っていきたいと思っております。

皆さん、知恵を貸してください。よろしく申し上げます。

○ 先ほどの青パトや歩いて見守りについてをソフト面だと仮定しましたが、厚別南町内会連合会では安心・安全マップみたいなものをつくっております。こちらはハード面と位

置づけ、まちセン所長に協力してつくってもらいました。

これは、札幌市が公開している住宅のデータ、GISに準拠した地域マップです。札幌市の地域情報で検索するとダウンロードできるのですが、公開されているものを使って安全・安心マップを3年前ぐらいにつくったのです。

線が入っているのですが、これは通学路や町内会の境界線にして、こういったものを地図に落とし込んでいくことができます。なおかつ、星印もついているのですが、これは厚別警察署生活安全課から来ている不審者情報、あるいは、ヒヤリ・ハット情報が出されたところですよ。

なぜこのようなものをつくるかということ、共栄小学校や厚別北小学校では、毎年、安全・安心マップと申しますか、そうしたものをつくる授業でやっているのです。でも、それがデータとして残らないのです。また、そのたたき台になる地図データが欲しいということで、やみくもに子どもが歩くのではなく、こういうヒヤリ・ハット事案の場所を載せることで、毎年、アニメーションのセル画というのでしょうか、そこに通学路を入れたらどうなるか、どこに重点的に見守りの人を置いたらいいかが直感的に分かるわけですよ。

こうしたデータを残し、行く行くは小学校に配付し、これをたたき台にして見守り活動をしたり、安全マップをつくってみませんかと言おうとした矢先にコロナになり、小学校に行けなくなってしまいました。ですから、まだ活用はできていないのですが、共栄小学校や新札幌わかば小学校にこういうデータを持っていき、この続きを皆さんでつくってくださいねと言おうと思っております。

厚別区全区でこんなものが広がっていけば、厚別区はこうやって見守っていますよというハード面での主張ができるかと思っておりますので、ぜひご検討をいただけたらと思っております。

○ 私は先ほどしゃべったのですが、細かいところはまちセンの小松所長からお話ししたいと思っております。

○ いつもお世話になっております。

厚別西地区全体では、先ほどいろいろとお話がありましたけれども、各小学校との連携、特に厚別北小学校では地域の方たちの顔が分かる、見える関係を築いてきています。一方、青パト隊は、桜井委員のところともう一つの町内会で4台の青パトがあります。ほかの町内会では10台ちょっとくらいでした。そういうことで青パトの取組もさせていただいております。このほか、子ども110番の家ですが、厚別西エリアで継続して登録している方も結構多いところですよ。

これに、今回、ながら防犯ということですよ。先ほど、一つの方策として、桜井委員から歩いてということがありましたが、これは一つのキーワードかなと思っております。厚別西は厚別区の中で一番大きい地区ですので、ほかの地区の方のご協力もいただきたいですし、防犯活動を積極的に支援していきたいと考えております。

○ 青パト隊について先ほど2台と言いましたが、厚別区もみじ台地区は3台ということでした。訂正させていただきます。

それから、もみじ台全体でやっているわけではないのですが、私はたまたま南自治会の副会長をやっています、650世帯ほどがあるのですが、自治会で防災マップをつくったことがあります。それには避難場所がどこにあるのか、みんなが暮らしている地域で危険箇所はないのかという2点に絞って、班長が自分のまちを歩いて確認しようとなりまして、2年をかけて防災マップをつくり、各世帯にお届けしたところです。

反響についてですが、喜ばれています。ただ、もみじ台全体ではなく、もみじ台みなみ自治会だけです、この話はこの辺にとどめます。

また、子ども110番の家についてです。

年々、もみじ台地区でも登録件数が増えてきました。ただ、同時に、お隣さんといいますが、3軒続けて貼られているというところもあるのです。いいことではあるのですが、ちょっとどうなのかなと思って見えています。いずれにしても、非常に目立つ赤色で子ども110番の活動は今後も続けていきたいと思っています。

○ 青葉地区でのネットワーク会議がお休みの期間の話題としては、青葉小学校が廃校になり、新札幌わかば小学校に統合され、児童の通学経路が変わったということがあります。私は、青葉13町内会の会長もしておりますが、来年度に入学する小学生が何人いるかと調べたところ、僅か7人と分かりました。町内会は1,000人くらいいるのですが、小学生は6年生まで入れても町内会で50人くらいです。でも、そうした少ない人数であっても、児童の見守りは非常に重要だと考えております。

コロナの影響もあり、活動は思うようにいかず、具体的な活動や報告はありませんが、今日の皆様方のお話を参考に地域の安全や防犯に積極的に取り組んでいきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○ 厚別東のひまわり町内会です。うちの町内会には小野幌小学校があるのですが、ここが今年で開校123年となりました。今、生徒数も五百七十八名で、これは変わっておりません。町内会としては小学校1年生の下校時間に合わせて防犯パトロールをやっております。毎週火曜日、役員と防犯部の5人体制でやっており、老人クラブもありまして、その人たちには毎週金曜日にやってもらっています。この活動は20年前からずっと続いておりまして、今後とも継続していきたいと考えております。

また、夏休期間中、町内会に高台公園があるのですが、朝の6時半からそこでラジオ体操をやっております。これには小学校や中学校の児童生徒と町内会の方が、毎日、七、八十名参加しております。

○ 小学校長会では、イントラネットを使い、不審者等が出没した際には迅速な情報共有を行っております。今年度も声かけ事案や刃物のようなものを持った不審者の出没情報が数件ありましたが、そういった情報が学校に入った際は、近隣校区の小学校では、登校時間でしたら教職員がポイントに立った見守り登校、スクールガードやスクールガードリーダーによる校区内巡視や見守り、青パトなど、地域の協力していただける方で対応しております。下校時は、危険度が高い場合は保護者引き取り、あるいは、教職員が付き添って

のまとめり下校など、それぞれの学校でケースに応じ、児童が安全に登下校できるような体制を整えて対応に当たっているところです。

あわせて、保護者へのお便りや学校メールで注意喚起を図っております。

本校の場合、不審者出没の際は警察にパトロール強化のお願いをします。本校の地区には青パトがあまりないということで、警友会の方に車で巡回していただいております。また、保護者のボランティア活動として、家の近くのポイントに立って、始業式からの3日間、子どもたちの登下校の様子を見守っていただき、防犯の抑止力を高める活動を行っております。

○ 厚別区中学校長会では、毎月、不審者情報を各学校から情報としていただき、それを集約し、地域の警察署に巡視のお願いをしておりますが、近年、不審者情報として報告される事案が非常に減少してきています。これについては、今もいろいろとお話を伺っていましたが、地域の皆様方、あるいは、警察の方が朝夕にパトロールでかなり回っていただいていることが功を奏しているのかなと考えております。

ただ、時折、刃物を持った不審者がいるとほくとくんメールで入った場合は、区内の校長間で、イントラネットで共有し、位置情報なども含め、生徒に下校指導を行っているところです。

中学校の場合、集団下校ということになかなかありません。部活動が終わる時間も違いますので、部の中で生徒を集め、あるいは、帰りの会で下校する生徒に注意喚起をしています。

ここで1点お願いです。

来年度、4月1日からもみじ台南中学校ともみじ台中学校が統合され、今のもみじ台中学校のところにもみじ台南中学校の生徒が入って学習を行うこととなります。うちの学校の今の校区からもみじ台中学校まで通うとなったとき、遠い子だと40分少々のかかります。特に、部活など、どうしても中体連前になると6時半まで活動するというので、あの辺りは結構暗いのです。いろいろな人が出入りするわけではないのですが、不安だという声も聞こえていますので、もし可能であれば、そういう時間には、地域の皆様、あるいは、警察の方のお力添えをいただきながら、その期間だけでもパトロールしていただきたいと思っています。

本当に勝手なお願いで申し訳ないのですが、地域の皆様や関係機関の皆様のご尽力で子どもが安全・安心な生活を送れますことに感謝しております。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

○ 今日、各委員のお話を伺い、PTAと申しますか、子どもたちの保護者という立場からのご尽力、ご協力のおかげで、日々、子どもが安全・安心に過ごせているのだなと改めて感じました。

厚別区単位PTAは、小学校、中学校、また、厚別北にある幼稚園を含め、22あります。大川（博）委員がおっしゃったように、3月をもってもみじ台南中学校が閉校になり、

21単位PTAになりますが、横の連携を大事にしております。とはいえ、去年、今年と、コロナ禍によりPTAとして一堂に会することができませんでしたが、今日も使っておりますZoomというコミュニケーションツールを2月の会長・副会長会で用い、各校でそれぞれの課題や情報交換が非常に活発に行うことができました。

防災・防犯については地域によって課題は違ってくるでしょうし、行っている活動も若干異なるところがあるのかなと思います。今後、各PTAではそうした情報交換をしながら、地域の一人の人間でありますので、保護者の立場を認識し、ご協力していきたいと思っております。

なお、今年度、ノホロの丘小学校で冬の注意ポイントのマップをつくっております。今日、資料としてお見せできればよかったですのですが、先般、情報共有しております。今後、各単位PTAにもこうした活動が広がっていくと思いますので、地域の皆様にもご協力をいただければと思います。

○ まず、警察からは、令和2年と令和3年の刑法犯の認知件数についてご報告いたします。

令和2年の刑法犯の認知件数ですが、厚別警察署管内で612件でした。昨年は611件と、1件減ですが、ほぼ横ばいです。令和元年より前から比べるとかなり減少傾向にあるのですが、これはコロナにより活動が自粛された影響が大きいのではないかと考えており、令和4年がこれより増加傾向にならないよう、継続的な防犯活動が必要になってきます。

次に、厚別警察署で危機的状況になっているのが特殊詐欺の被害です。還付金詐欺、架空料金請求詐欺など、役所職員をかたった不審電話からATMでお金を下ろすように指示されたり、コンビニで電子マネーを購入するように言われ、意味も分からず買ってしまい被害に遭われるという資産を狙った犯罪が非常に多く、危機的な状況にあり、これをどうにか食い止めなければならないのが課題です。

また、厚別警察署の生活安全課からは、ほくとくん防犯メールによって、地域の皆様に知っていただきたい情報、例えば、声かけ事案や刃物を持った不審者事案など、子どもや女性が被害に遭う犯罪、そして、特殊詐欺に関する犯罪の情報に重点化し、皆様にできる限り早く発信させていただいております。

なお、ほくとくん防犯メールは登録制で、登録していないとメールの受信ができませんので、登録件数を増やし、厚別署管内でどんな事件が起きているのか、どんな傾向があるのかについて、地域の皆様に関心を持ってもらいたいと考え、防犯意識を高めてもらう取組の一環として防犯メールの登録者数の増加を目標としております。

また、防犯メールと報道発表などで皆様に事件情報に関してはお伝えしているところですが、あわせて、先ほどありました青色パトロール隊の皆様にも不審者の発生箇所を情報として流し、警戒をお願いしております。パトロールの一番の目的は連続発生を抑止です。不審者が一度出て、それが愉快犯だとしたら、ほかの場所で連続敢行する可能性があります。一度発生したものは二度と発生させないということでパトロールをお願いしていると

ということです。

不審者というのは、人が少ない場所、ばれない場所、証拠が残らないカメラのない場所、逃げやすい場所など、メイン通りではなく、人通りが少ないところでの発生が非常に多いところです。青色パトロールの利点は機動力と広域をパトロールできるということにあります。パトカーでパトロールする台数は決まっております、青パトの皆様にはパトカーの代わりにその地区のパトロールをして発生を抑止していただきたいと考えております。

また、その地区に青パトの団体がいらっしゃると、すぐに自分の地区をパトロールできるという利点があります。現状では、パトロールしていただいている団体の台数に差がありますけれども、一台でも多く、各地区の青パトの登録者数を増やしていただけたらと思っておりますので、皆様にもご協力をお願いいたします。

そして、皆さんにお願いしたいのは、事件に関する情報提供と通報です。どんなささいなことでも構いません。結果として、捜査した上で事件ではなかったということでも構いません。これは違法なのではないかというものがあれば警察まで一報をいただけたらと思っておりますので、ぜひよろしくをお願いいたします。

地域の安心・安全のためには皆様のご協力、ご尽力が必要不可欠になりますので、今後とも何とぞお願いいたします。

○ 少年補導員連絡協議会は全部で8支部あり、厚別区には5支部があります。今、コロナ禍において大人数で集まることができない状態で、各自それぞれでチャイルドガードという緑のベストを着用し、大人数にならない4人以下で見守りに回っている状態です。

コロナ前におきましては、各町内会と連携し、イベントやお祭り等に参加させていただくことで活動してまいりました。コロナが少し収まってきましたら例年どおり活動できるのかなと思っておりますので、今後ともよろしくをお願いいたします。

○ 保護司会としては、犯罪を犯した者及び非行少年の改善更生が主な使命です。それに併せて、社会を明るくする運動を通じて犯罪の予防のための啓発を行っております。

具体的には、小学校と中学校にご協力をいただき、毎年、作文コンテストを実施しております。加えて、厚別区民まつりなど、区内のいろいろなイベントに参加させていただき、犯罪防止の啓発活動を行っており、公開の講演会も町内会を通じてご協力をいただきながら行っています。

コロナ禍で表立っての活動はできませんが、今年度もいろいろな計画を予定しており、本日もご出席の皆様のご協力をいただきながら活動を進めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

○ 各町内会がご苦労されていることがひしひしと伝わってきました。大変申し訳ないのですけれども、この2年間、コロナで弊社としては活動が何もできていません。これは、厚別区に限らず、全道全市においてです。令和4年度以降、コロナがどうなるかはまだ分からない状況ですが、アフターコロナ、ニューノーマルといえますか、それも含め、その地域に合ったやり方を模索していきたいと考えております。

今回、ながら防犯という話がありました。具体的な詳細についてはこれからかと思えますけれども、弊社の営業の人間が多数いますので、ながら防犯で何かできないかは今後考えたいと思います。

また、皆さんがご存じかは分かりませんが、2015年にわらび階段に防犯カメラを設置した大谷地町内会の件には弊社が関わっております。私も関わらせていただいたのですが、2年かけてやっと設置しました。今の時代、防犯カメラは当たり前になっていますので、そういうことで弊社としてはお手伝いできればと思っております。

また、弊社としては、北海道179市町村、当然、札幌市もそうですが、防災協定を締結させていただいております。有事の際、各町内会や自治体で避難所が開設されたとき、無償で飲料水を提供する自動販売機を設置するなどができますので、防災・防犯に関し、皆さんのご意見があれば、今後、遠慮なくお声がけいただけたらと思います。

○ 皆様、ありがとうございました。

最後に、厚別区役所市民部長の小野塚委員からお願いいたします。

○ 本日は地域で様々な活動を実践されている方からお話を伺い、大変ありがたく思います。

お話の中で青パトのことが出されましたが、区役所の公用車1台も青パトに登録しております。公用車ですので通常業務もあるのですが、不審者情報があった際、予定が空いたら地区内を巡回しております。ただ、業務の関係でもあり、区役所が直接的に見守り活動や巡回をすることはなかなか難しく、区役所は環境整備といいますか、皆さんが活動しやすくなることに取り組んでまいりたいと考えております。

また、青パトを増やすこと、子ども110番の家、地域サポーター、子ども110番の店の活動を増やすための取組について、啓発活動を含めやっていきたいと考えております。

そして、話題になりましたながら防犯についてです。まだ始まっていませんので、具体的なことをお知らせできず心苦しいのですけれども、どのような効果が出てくるのかを含め、取り組んでいきます。

実際に青パトや見守り活動をやっているということで大変頭が下がるのですが、大方の人は、何かをやりたけれども、決められたことをやる、自分の時間どおりにいかないということがハードルの高さになっているということがあります。お子さんと一緒に歩くというだけで敷居は低くなるということでしたが、まさにそれがながら防犯の考え方となります。自分の都合のいいときにやりたいことをやっていただき、それが見守りにつながるということです。

令和6年度までに全市で1万人の登録という目標を掲げておりますが、厚別区の人口から考えますと、600人以上は厚別区民が入って欲しいと考えております。そういったことも含め、一人でも多くの方に参加していただくよう、区役所も啓発に取り組んでまいりますので、地域での啓発活動にぜひご協力をいただきたいと思います。

本日は、ありがとうございました。

○ ありがとうございます。

今日は、皆様から貴重なお話をいただくことができました。コロナ禍でなかなか会議を開くことができない中、貴重な機会になりました。私自身も、皆様の活動を知ることができ、勉強になりました。

このほか提案やご発言されたい方はいらっしゃいませんか。

○ 青パトは、町内会連合会の推薦で警察署から委嘱を受けて活動している都合上、私のように、厚別南地区の者が青葉地区やもみじ台地区に行くということは自制してしまいます。六つの町連が集まって会議する際、こうしたことについて共有し、警察から委嘱されている青パトであれば厚別区内のどこでも行けるなどということがあれば詰めておいていただけると動きやすいので、よろしく願いいたします。

○ 実は、青パトの登録のとき、警戒地区というのは申請で決まっており、その地区の方にはその地区をパトロールしていただきたいという原則があるのですが、各地区で連携して回るのは問題ありませんので、各地区で連携し、管内全体のパトロールをぜひよろしくお願いいたします。

○ ほかの地区を回ってもいいということで確認させていただきました。

そのほか、ご発言されたい方はいらっしゃいませんか。

(「なし」と発言する者あり)

○ それでは、これで意見交換を終了いたします。

皆様、スムーズな進行へのご協力を本当にありがとうございました。

それでは、進行を事務局にお返しいたします。

< 5. 閉会 >

○ 高橋代表、ありがとうございます。

高橋代表の進行と皆様の活発なご議論により、非常に意義のある会議となりました。また、オンライン会議ということもあり、若干聞き取りにくいところがあったかもしれませんが、おわびいたします。

それでは、これをもちまして第16回防犯ネットワーク会議を終了いたします。

皆様、ありがとうございました。

(文責：厚別区市民部総務企画課)